

残波岬～真栄田岬周辺海域における流況調査報告

平成19年10月22, 23日の高低潮の差が大きい時期(原則として大潮時)に、残波岬から真栄田岬周辺海域において流況調査を実施した。

1. 調査海域

観測海域図に示すとおり

2. 調査方法

礁外 測量船「おきしお」による ADCP 観測

礁内 DGPS 漂流ブイによる漂流観測

3. 調査結果

< ADCP 観測 >

10月22日の観測において、上げ潮時の観測、10月23日の観測において下げ潮時の観測を実施した。観測結果を第1-1図及び第1-2図に示す。

上げ潮時は、真栄田岬から残波岬向けに0.2kn～0.6kn程度の西流を観測した。

また、西流を続ける流れが残波岬を抜けた後、南に回り込む様子が観測された。

下げ潮時は、残波岬西方から真栄田岬向けに0.5～1.0kn程度の東流を観測した。

また、低潮が近づくにつれ流速が弱まり、流向が西方へ変わりつつある様子が観測された。

< 漂流ブイ観測 >

10月22～23日の全ての観測において、上げ潮時及び下げ潮時の観測を実施した。観測結果を第2図に示す。なお、観測中の気象は曇り、風は、22日、北北東～東北東の風5～7m/s、23日、北北東～北東の風3～5m/sであった。

上げ潮時の流速は、最大で約0.5kn、平均で約0.2knの速さであった。

下げ潮時の流速は、最大で約0.2kn、平均で約0.1knの速さであった。

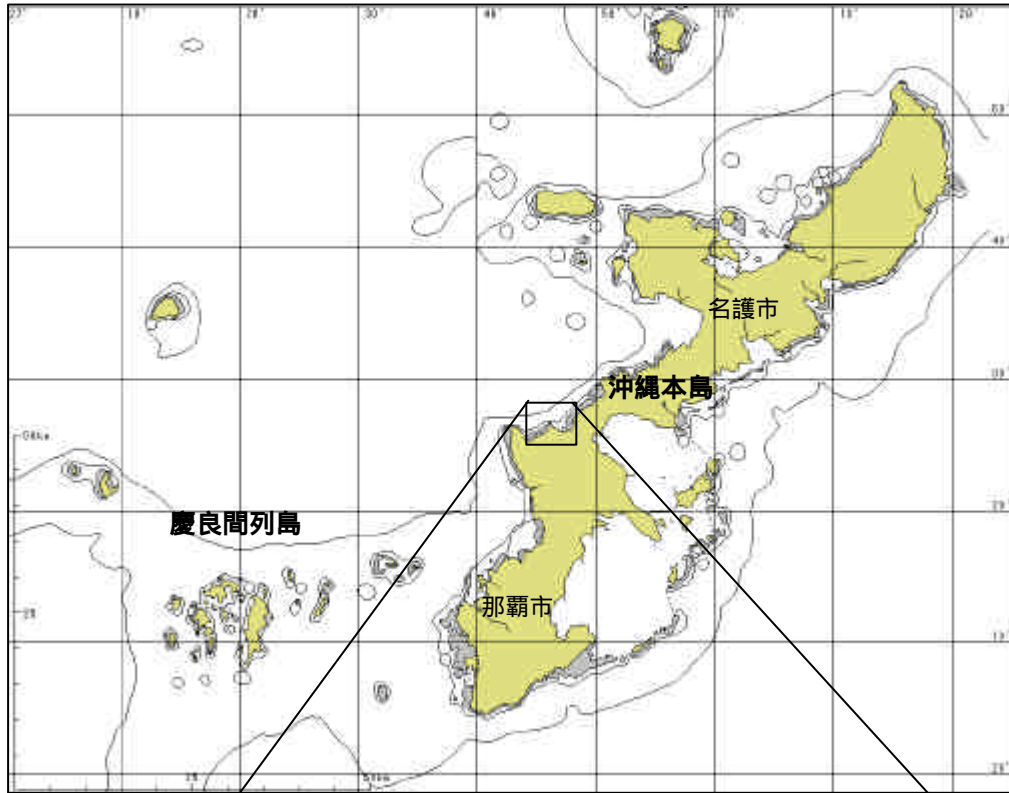
4. まとめ

残波岬から真栄田岬に至る海域は、スキューバダイビング、シュノーケリング及び磯釣りなどマリトレジャーが盛んに行われ、それらを楽しむ客で賑わう場所である。

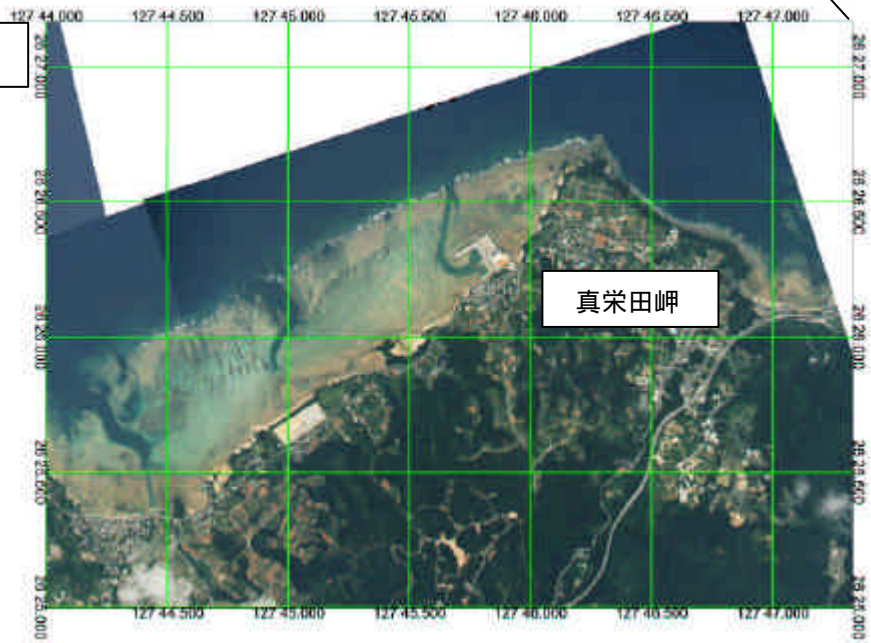
今回の礁外における漂流観測では、北東よりの強い風の影響を受け、10月22日の上げ潮時及び翌23日の下げ潮時共に、沖合から陸岸へ向かう南西への流れが観測された。

また、ADCP 観測から、時間帯により流向がほぼ逆転する様子や1.0kn前後の流れが観測されていることから、礁外におけるマリ活動も注意が必要とされる。

観測海域図



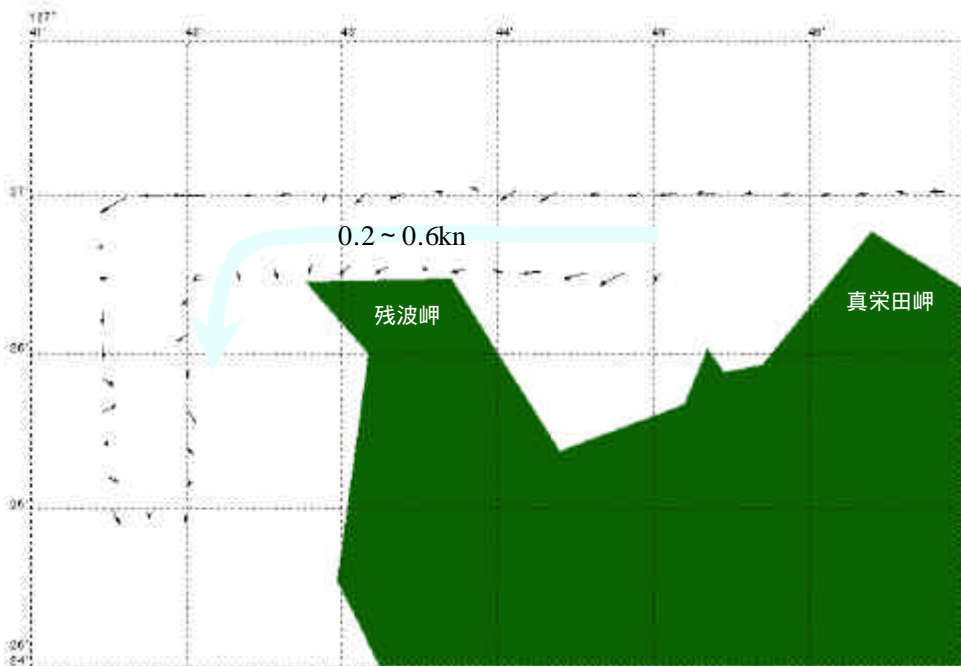
拡大図



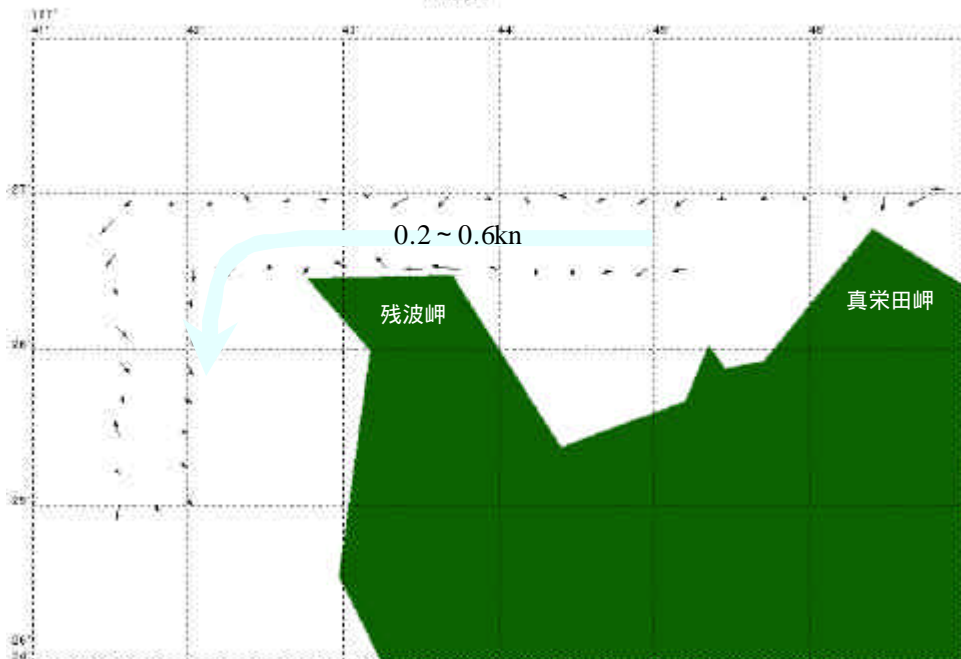
ADCP観測結果 (10月22日観測)

< 上げ潮時 >

2007/10/22 12:04~10/22 13:10 第1層 10.0m →
20 (ノット)

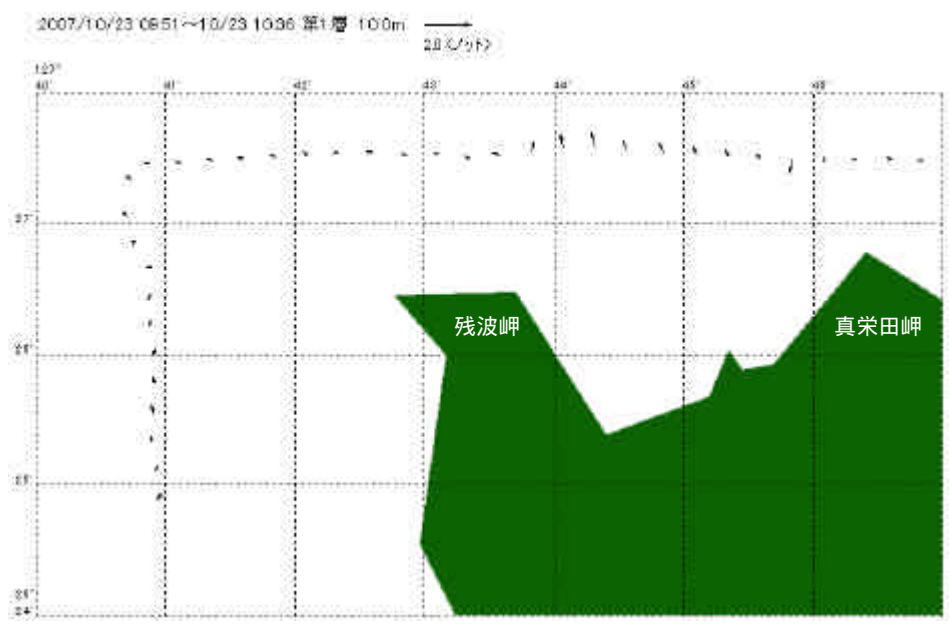
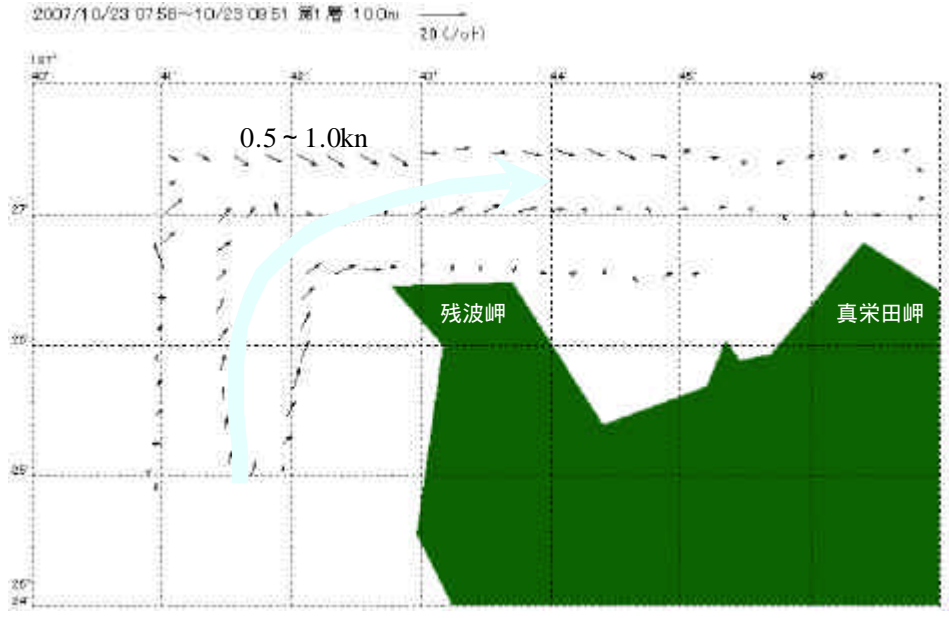


2007/10/22 13:10~10/22 14:15 第1層 10.0m →
20 (ノット)



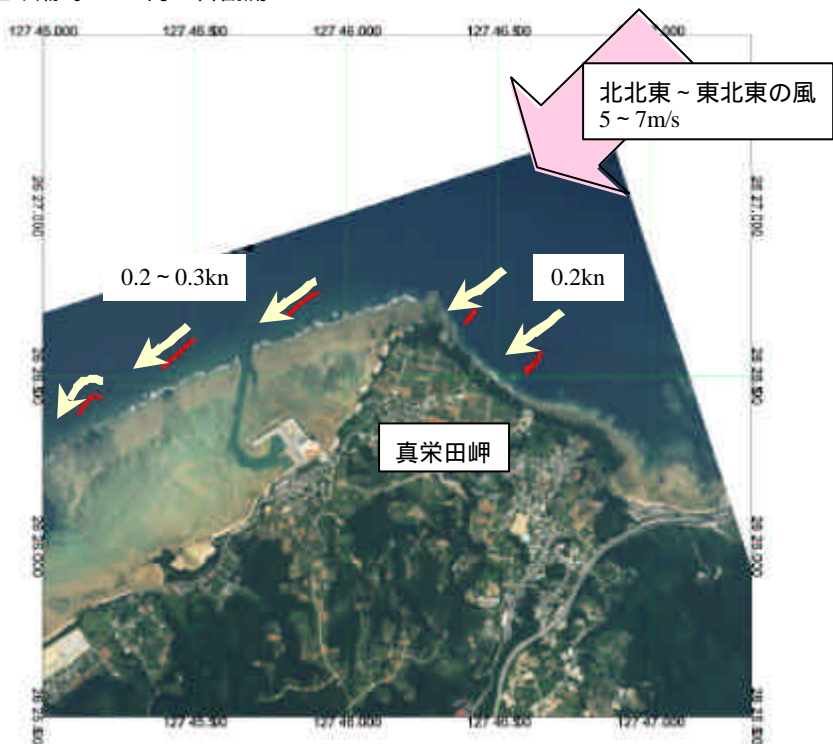
ADCP観測結果 (10月23日観測)

< 上げ潮時 >



漂流ブイ観測結果

< 上げ潮時 > 10月22日観測



< 下げ潮時 > 10月23日観測

